

この度、筑波大学体育系研究倫理委員会で承認された下記の研究を実施します。本研究の対象者に該当する方で情報を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも不利益は一切ございません。

研究課題名	『運動課題への主体的な取り組みを促進させる映像フィードバックの活用』
課題番号	体 024-99
研究責任者および研究説明者	研究責任者：筑波大学 体育系 教授 本間 三和子 研究説明者：筑波大学大学院 人間総合科学学術院 大学体育スポーツ高度化共同専攻 加畑 碧
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	本研究の目的は、映像フィードバックの有無が自由時間中の練習行為にどのような影響を及ぼすかを調査することです。主要評価項目として、自由時間内の練習試行回数、ジャグリング練習中の気づきや感じたことに関する自由記述を得ました。これにより、映像フィードバックとそれに伴う振り返りが、自律的で内省的な練習に及ぼす効果の詳細を明らかにします。
調査データ該当期間	2019年6月
研究の方法（使用する試料等）	1) 調査期間に筑波大学体育専門学群で開講された保健体育科（体力づくり）指導法（実習Ⅲメンタルチェック法）坂入洋右氏担当分の受講学生を対象に、体操ボールを用いたジャグリング課題を設定し、①運動課題（ジャグリング）の連続記録②自由時間内の練習試行回数③ジャグリング練習についての自由記述を得ました。収集したデータは侵入対策及びウイルス防御対策を施した USB メモリーに保存し、パスワードを設定して研究責任者・連携研究者以外はアクセスできないようにし、収集した紙媒体のデータは体育科学系 B 棟 416 号室（教員研究室）の鍵のかかるロッカーに保存し、研究責任者・連携研究者以外は閲覧できないようにします。（氏名などの個人情報 は研究に用いません。） 2) 本調査はアンケート回答についての署名欄を作成し、自由意思によるインフォームド・コンセントを受け、質問紙の提出をもって同意が得られたものとしましたが、本研究で既存情報を使用するにあたっては、本文書をオプトアウトの場とし

	<p>て設定します。</p> <p>3) 収集データは筑波大学で分析されます。</p> <p>4) 分析結果は、論文発表や学会発表、インターネット掲載等で発表されます。</p>
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	なし
本研究の資金源（利益相反）	本研究で要する費用は教育研究経費によって実施します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>研究責任者：筑波大学 体育系 教授 本間 三和子 メールアドレス：homma.miwako.fe@u.tsukuba.ac.jp</p> <p>説明者：筑波大学大学院 人間総合科学学術院 大学体育スポーツ高度化共同専攻 加畑 碧 メールアドレス：s2330554@u.tsukuba.ac.jp</p>
備考	なし